

## 編集後記

技術発表会は今回で13回目となりました。技術部構成員は、4月に独法化したと同時に約50パーセントの時間を技術部に対しての依頼業務に振り向ける体制に移行し、組織も再編成しました。具体的には、平成16年度の5月から試行を始め、概ね1年間試行をして平成17年度から本格的に稼働させる目標で今日まで活動してきました。この期間、独法化に伴い労働安全法が全面適用された事もあり、新たな技術習得にかなりの時間と労力を割いてきました。依頼業務も、まだすべてのメンバーを平均すると50%になっていないのが現状です。

昨年度は、労働安全衛生法関係ではいち早く衛生管理者の資格を習得し、具体的に巡回業務を技術部メンバーが中心に行う等、積極的に全学の体制構築に参加してきました。又、全学の作業環境測定業務を工学部技術部が行うことを提起し、その準備にも取り組んできました。17年度は、この件では本格稼働することになる予定です。情報システム関係では、全学の要請もあって情報システムグループのグループリーダーの伊藤君が、新体制発足直ぐに総合情報処理センターに割愛されました。結果として技術部としては、力を削がれたこととなりますが、一面では技術部情報システムグループのそれまでの活動を前向きに評価された結果ともいえます。

技術の集約化が進む今日、新しい技術を習得したり、経験から得た教訓を技術職員同士で交流したり、共通の認識に高める場として、このような技術発表会の意義も以前にも増してさらに強まるものと思われまます。

今回の発表では、昨年を引き続き他大学の発表が2件、学内では、生物資源学部の発表を含め、13件の発表がありました。

最後に、特別講演を快く引き受けてくださった黒崎靖教授、他大学からの発表者として、静岡大学工学部の増田健二さん、名古屋工業大学の坂井孝弘さん、学内では、他学部を含め発表していただいた技術職員の方々、また、多忙な時間を割いて技術発表会を聴講して頂きました研究担当の森野捷輔理事に対しても、紙面をお借りして、厚くお礼申し上げます。

2005年1月 市川貴之

技術部研修委員会委員長	市川 貴之
副委員長	福永千佳己
委員	小林 嘉
委員	岩田 剛
委員	和藤 浩
委員	中村 勝
委員	中川浩希

技術報告集 第13号	(2005年1月発行)
編集・発行	三重大学工学部技術部 研修委員会
住所	〒514-8507 津市上浜町1515
	三重大学工学部
	電話 059(232)1211代
技術部ホームページ	<a href="http://www.tech.eng.mie-u.ac.jp/tech/">http://www.tech.eng.mie-u.ac.jp/tech/</a>